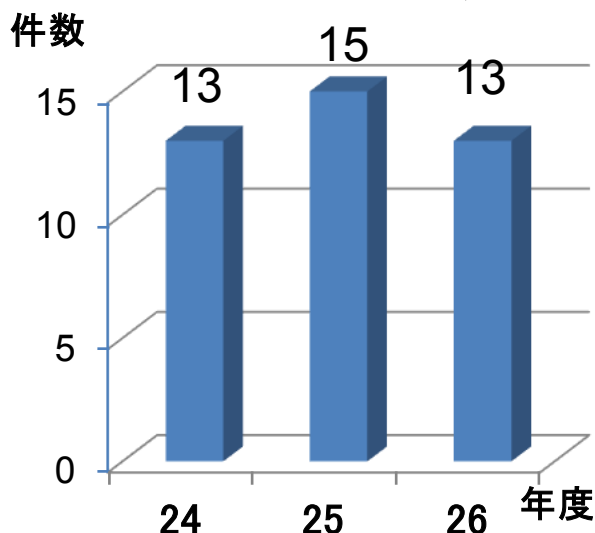


生乳への抗菌性物質の残留事故をなくそう！

オホーツク管内では毎年、生乳への抗菌性物質残留事故が多発しています。

＜ 事故発生件数 ＞



発生原因実例

- 他の牛の残った薬を使った上に、間違えて搾乳してしまった。
- マークバンドが外れ、他にマーキングが無く、搾乳してしまった。
- 投薬牛が柵を越え搾乳群に入り、マーキングもしていなかった。
- 間違えて隣の牛に投薬してしまい、搾乳してしまった。

◆ H26年度は約128tの生乳が廃棄され、推定損失額(廃棄乳代+廃棄経費)は1,460万円にのぼっています。事故の多発は牛乳の安全性に対する風評被害や消費者の牛乳離れに繋がりがかねません。

◆ 治療牛を搾乳、投薬する際は、**必ず牛の番号を確認し、間違えていないかしっかりと確認**しましょう。
マーキングは**投薬する毎に、牛体の2カ所以上に目立つように**実施しましょう。

世界に誇れる安心・安全な牛乳を！

北海道網走家畜保健衛生所

電話：(0157)36-0725 FAX：(0157)36-5801

